

\*\*\*\*\*

令和3年



# けんき

# 12月

さいたま市立 大宮北小学校 学校だより

\*\*\*\*\*

## 心のゴールを目指して

校長 渡辺 明

冬晴れの中、子どもたちが元気に登校してきます。早いもので師走が目前となりました。「師走」という文字を目にすると、教師が走っている姿が浮かびますが、この言葉の「師」はお坊さんのことで、年末の読経のために忙しく動きまわっている様子が語源になったという説があるようです。2学期のまとめの時期ですから教員も忙しいのですが、うっかり廊下を走って悪いお手本にならないよう、落ち着いて過ごしたいものです。

さて、秋は気候も良く、学校行事の多い時期です。加えてコロナ禍による行事計画の変更もあり、11月号でお伝えしたように、校外学習が例年以上に集中しました。11月4日・5日の修学旅行も天候に恵まれ、日光の自然や東照宮見学などを楽しむことができました。ところどころで児童が進行する式があるのですが、「去年できなかった自然の教室の分も併せて2倍楽しみましょう」というような子どもの言葉が繰り返し聞かれました。過ぎてしまったことを取り返すのは難しいものですが、子どもたちが少しでも前向きな気持ちで修学旅行を楽しんでくれたなら、ありがたいことです。

去年できなかったけれど今年実施できた行事の一つに、11月24日(水)・25日(木)に行った持久走記録会があります。この日に向けて、子どもたちは体育の時間を中心に練習に取り組んできました。感染予防のため、例年よりも一度に走る児童の数を減らしたため、抜きつ抜かれつというシーンは少なかったかもしれませんが、息も苦しいはずなのに、限られた時間の中で少しでも多く走ろうと頑張る子どもたちの姿、自分自身に挑戦するかのような表情が見られました。

当たり前のことですが、走ることは苦しいことです。よく「苦しさを乗り越えることに価値がある」という言い方をしますが、乗り越えた先に喜びや満足感があることが大切なのだと思います。苦しさを乗り越えることが目的になってしまえば、ただ苦しいチャレンジになってしまいます。また、結果だけに囚われてしまうと、思うような記録が得られなかった子は報われません。けれども、みんなが頑張っているのですから、全員が喜びを得られるのが理想です。

走ることは苦しいことですが、たとえどんなペースであっても、着実に前に進んでいきます。一人ひとりに自分の決めた心のゴールがあり、目印のカラーコーンを越えていくたびに、小さな喜びや達成感があるはずですよ。

学校生活には、「苦しいこと」はさほど多くないかもしれませんが、「面倒なこと」も含めると、子どもにとって「できたらやりたくないこと」はいろいろあります。活動の中での価値付けや、頑張りを認めて適切に褒めることを心がけ、毎日の生活の様々な場面で、子どもたちが「心のゴール」を目指していけるよう、指導していきたいと思っています。

保護者の皆様には健康観察や同意書への記入などにご協力いただき、当日の応援も子どもたちの支えとなりました。ありがとうございました。



華巖の滝の大迫力！



天気は最高！中禅寺湖



キラキラ輝く東照宮！

※行事の様子は、学校HP「教育活動」内の「児童の活動」でもカラーでご覧いただけます。